

山口大学ワンダーフォーゲル部 OB 会
2006 年 OB 通信第一号

〒753-0841 山口市吉田 1677-1
山口大学体育会ワンダーフォーゲル部 OB 会事務局
URL <http://www.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~tabidori/>
E-mail tabidori@yamaguchi-u.ac.jp

8 月上旬発行

はじめに

山口でも今年は大雨が多く、蒸し暑い大変な日が続いています、OB会の皆さまはいかがお過ごしでしょうか。今年の総会はずくばでの開催となりました、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

さて、現役の部員たちも夏合宿に向け、トレーニングに講習会にと心身共に充実した毎日を送っているようです。今年は本部、工学部共に南アルプスに登るとのこと。良い合宿として、一生に残る思い出になってほしいものです。

連絡先

OB会についてなにかご意見、ご質問等ありましたら、上記のメールアドレスか下記の連絡先にご連絡よろしく願いいたします。

OB 会会長
末国 弘司

OB 会副会長
木山 克彦

事務局 (2006 年末日まで)
上岡 敬巧

目次

第1章	OB会より	1
1.1	「つくばで楽しく」	1
1.2	総会案内	2
1.3	OB会名称投票のお願い	5
第2章	OB会員の皆様へ	7
2.1	お知らせ	7
2.2	2005年会計報告	7
2.3	OB会費納入について	7
2.4	入会、脱会について	8
第3章	現役活動報告 -本部-	9
3.1	執行部近況報告	9
3.2	春合宿結果報告 奄美大島	10
3.3	2006年度 第42回県内合同ワンデリング結果報告	11
3.4	夏合宿紹介 - 仙丈、甲斐駒、白峰三山 -	12
3.5	アフター紹介 燕岳	12
3.6	一年生合宿紹介 美ヶ原	13
第4章	現役活動報告 -工学部-	15
4.1	執行部近況報告	15
4.2	春合宿結果報告	15
4.3	工学部夏合宿について	16
4.4	80km 耐久徒歩	17
第5章	その他	19
5.1	Y.U.W.V. ホームページ	19
5.2	編集後記	19

第1章

OB会より

1.1 「つくばで楽しく」

OB会長 末國弘司

山口大学ワンダーフォーゲル部OB会の2006年総会を10月7日(土)に「筑波ふれあいの里」(つくば市臼井2090-20)で東京支部担当のもとに開催いたします。詳細は別途掲載していますので、ご覧ください。多数のOB諸氏の参加をお待ちしております。OB会総会を各地区持ち回りとしてから早や一巡し、再び東京支部のお手数をかけることになりました。今年は従来とは少し趣を変えて、懇親会をバーベキュー方式にしたいとの支部の意向で、つくばでの開催となりました。翌日は筑波山登山も計画されています。

ところで目を転じてみれば、世情はいつになっても落ち着かないもので、小泉内閣がいよいよ交代目前となりました。景気回復が言われてはいますが、リタイアした身にはなかなか実感が湧かない昨今ではあります。一方で社会的格差の方がより身につまされ、また日本を取り巻く環境も厳しさを増す一方で小泉内閣の成果は何だったのかと考えざるを得ません。OB諸氏は、如何感じておられるでしょうか。まあいつの世でも不満の種は尽きないものですが、将来の展望が見えるかどうか、その展望が明るいものかどうかで、働く意欲は変わります。組織においても同じことが言えるのではないのでしょうか。その組織の目指している姿が見えなければ、共感が得られなければ、団結と発展はないものと思っています。われわれOB会もその姿をより明確にするべき時期に差し掛

かっているのかな、と感じております。昨年は京都で総会を開きました。その後、関西地区で支部結成に向けての取り組みが始まりました。今後に期待したいと思います。

10月には新内閣が発足しているでしょうが、世情の話題も含めて、久闊を叙し、また新たな仲間を知り、大いに語り、楽しいひと時を過ごせれば、また次の時代へ繋ぐ一助となれば、と願っています。

最後になりましたが、新OB会発足当初からの懸案の一つ、会の名称について昨年の総会にあわせてアンケートを取りましたが、その結果を踏まえて別掲のように候補を絞り込みました。今回は総会出欠の返信はがきでの投票をお願い致します。これで最終決定にする予定ですので、会員は漏れなく投票してください。

1.2 総会案内

Y U W V O B 総会・懇親会～筑波山 in つくば

1. 開催期日 平成18年10月7日(土)～8日(日)
2. 総会・懇親会 場所
筑波ふれあいの里
(つくば市臼井2090-20 TEL 029-866-1519)
下記交通の筑波山神社入口より徒歩15分
詳しくは、www.city.tsukuba.ibaraki.jp をご覧ください。
バス停を降り、赤い鳥居をくぐらず鳥居を左に見てまっすぐ進み、ホテル1望から右手に下る。
3. 会費 7,000円
4. 交通
TX秋葉原駅～TXつくば駅(つくばエクスプレス)片道 1,150円
TXつくば駅～筑波山神社入口(関東鉄道シャトルバス)片道 700円
つくば駅でのバス乗り場はA4出口に進み、シャトルバス乗り場に行ってください

時刻表

TX秋葉原駅	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30
TXつくば駅着	13:15	13:45	14:15	14:45	15:15
TXつくば駅発	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30
筑波山神社入口着	14:10	14:40	15:10	15:40	16:10

なお、帰りのシャトルバスの時刻表は次のとおり

時刻表

筑波山神社入口発	09:10	09:40	10:10	10:40	12:10	12:40
TXつくば駅着	09:50	10:20	10:50	11:20	12:50	13:20

5. スケジュール

第一日目(10月7日)

- 14:00 受付開始
- 16:30～17:30 OB総会
- 18:00～20:00 バーベキュー並びにファイヤー
- 20:30～入浴及びコテージにて歓談

第二日目(10月8日)

- ～08:30 離里準備終了(朝食はコテージにて)

09:00 流れ解散

6. 筑波山登山（標高876m）

筑波山は男体山と女体山の二つの峰からなり、西の富士、東の筑波と並び称されており、関東平野の展望台として眼下に霞ヶ浦・筑波研究学園都市をはじめ、良く晴れた日には都心の高層ビルや富士山を望むことができます。

1) ケーブル利用の場合 所要時間 8分 料金 往復 1,020円

宮脇 - 筑波山山頂 運行時間帯 9:20 ~ 17:00

運行間隔 00 20 40 (20分間隔)

2) ロープウェイ利用の場合 所要時間 6分 料金 往復 1,070円

つつじヶ丘 - 女体山 運行時間帯 9:20 ~ 17:20

運行間隔 00 20 40 (20分間隔)

つつじヶ丘までの交通

筑波山神社入口	8:40	9:10	9:40
つつじヶ丘	8:50	9:20	9:50

3) 自力登山の場合

コースA（ロープウェイに沿って登る）

筑波山神社 - (0:40) - 中ノ茶屋 - (0:20) - 男女川 - (0:20) - 御幸ガ原 - (1:00) - 筑波山神社

コースB（女体山をめざして登る）

筑波山神社 - - - 弁慶の七戻り他 - - - 女体山 - - - ガマ石 - - - 御幸ガ原

約3時間

4) 散策コースの場合

筑波山神社 - - - むかし道 - - - 筑波山

約1時間

筑波山	10:00	12:00
東京駅日本橋口	11:55	13:55

料金1,730円

7. 温泉入浴

疲れた身体を癒す筑波温泉センター「つくば湯」の紹介

営業時間 10:00 ~ 22:00

料金 1,000円

8. その他

- 1) 服装 コテージ宿泊となり、また野外で懇親会を実施しますので、活動しやすい服装を準備願います
- 2) 必要なもの 洗面用具(タオル等) 軍手、懐中電灯
- 3) 参加の有無 同封の返信用葉書で、9月8日(金)必着 でご連絡願います。

《参考》

標準的な旅程は次のとおりです。(ただし、乗り換え時間は考慮していません) 単位:分

福岡空港 - (90) - 羽田空港 - (24) - 浜松町 - (4) - 東京 - (3) - 秋葉原入口 - (45) - TX つくば
- (40) - 筑波山神社

山口宇部空港 - (90) - 羽田空港 - 以下 のとおり

新山口 - (292) - 東京 - 以下 のとおり

広島 - (255) - 東京 - 以下 のとおり

新大阪 - (159) - 東京 - 以下 のとおり

1.3 O B 会名称投票のお願い

末 國 弘 司

O B 会の名称について昨年（2005年）の O B 通信 1 号でアンケートを行い、その結果は同年年末発行の通信 2 号に掲載いたしました。結果は応募者 35 名、応募名称案は 42 でした。

その中から以下の 5 案に絞りましたので、お知らせすると同時に、この中から決定するための投票を行います。O B の方は残らず投票されるよう、お願いいたします。同封の O B 総会出欠はがきで、投票してください。結果については、10 月の O B 総会で発表し、12 月の O B 通信にも掲載いたします。

また、名称にあわせたワッペン用の図案を、改めて募集いたします。

名称

鳳翺会

鳳友会

碧山会

山歩会

山緑会

第2章

OB 会員の皆様へ

2.1 お知らせ

会費未納の場合は自然脱会となっております。会費のお支払いはお忘れなきようお願い申し上げます。

また、OB 名簿は通信第二号のみに掲載となっております。納入状況につきましては、2006 年が未納の方と、2006 年まで納入の方にのみ、振り込みをお願いする紙を同封しております。

2.2 2005 年会計報告

2005 年内での収入、支出はつぎのようになっています。

入金	
利子	7
OB 会費	585,000
総会残金	42,185
カンパ金	2,000
計	629,192
支払	
事務用パソコン	226,077
OB 通信第一号関連費	69,489
OB 総会関連費	245,150
OB 通信第二号関連費	69,441
計	610,157

2005 年末での OB 会費総額は以下のようになっています。

OB 会費総額

2004 年繰越	1,401,676
2005 年入金	629,192
2005 年支払	610,157
合計	1,420,711

OB 会費総額のうち、前受金は以下のとおりになっています。

年別 OB 会費前受金 2006/7/20 現在

2006 年	385,000	2012 年	2,000
2007 年	245,000	2013 年	13,000
2008 年	183,000	2014 年	10,000
2009 年	122,000	2015 年	6,000
2010 年	68,000	2016 年	4,000
2011 年	25,000		

計 1,063,000

2.3 OB 会費納入について

2006 年分 OB 会費を納入されていない方はお手数ですが、郵便振込にて下記へ納入して下さいようお願い申し上げます。なお、2005 年分 OB 会費が未納の方は自然脱会となっております。

口座記号番号 01530-0-16050

加入者名 山口大学ワンダーフォーゲル部

個人会員年会費 2,000 円

夫婦会員年会費 3,000 円

会費納入は上記の倍数で御支払い下さいますようお願い申し上げます。

2.4 入会、脱会について

初めて入会される方、再度入会される方は会費振込を意思表示とさせて頂いておりますので、お手数ですが、前記の口座にお振込み頂きますようお願い申し上げます。会費未納の場合は、自然脱会となりますので、会費のお支払いはお忘れなきようお願い申し上げます。

事務局より

第3章

現役活動報告 -本部-

3.1 執行部近況報告

第46期主将 田中歩希

今年の係

主将・会計・装備	田中歩希
副将・気象・記録図書・トレーナー	清水和也
主務・渉外・山行技術	小柳武史
エッセン・メッチェントレーナー	西村朋子

今年も3年生が少ないため、2年生にも少し係りを任せています。

今年の部員

	1年	2年	3年	4年	計
オッチェン	4	0	3	1	8
メッチェン	2	1	0	0	3
計	6	1	3	1	11

今年はおッチェン4人、メッチェン2人の計6人入りました。去年はメッチェンが少なかったことでメッチェン二人が入ったことは大きかったです。今年も去年同様に毎日茶話会をし、至るところにポスターを貼り頑張りました。1回生はみんな元気があり、今後が楽しみです。これからがんばって続けていって欲しいです。

第46期新執行部スタート

今年1月から主将を務めさせていただいております、田中歩希と申します。去年の上岡先輩の代に引き続き、我々第46期執行部も今年の1月か

らのスタートとなりました。

1月から3月は春合宿やスキー合宿や県合のため色々あわただしかったです。初めて自分たちでやっていく上で色々分からないことやうまくいかないこともあり、大変でしたが執行部をやっていく上で何とか良い形ができたと思います。

春合宿が終わると、新入生勧誘に力を入れました。特にメッチェンを入れることに力を入れました。2・3・4回生でメッチェンが1人と少ないのでできるだけピラやポスターが男くさく無いものを使ったりしました。毎日ピラを配り、茶話会を開いたり、各学部にもポスターを貼ったりという頑張りしました。その成果もあり6人が入部しました。みんな個性豊かで部もすごく賑やかになったと思います。

僕らの執行部ではできるだけ、時間や紙などの無駄を減らそうと考えています。ワングルは安対や部会、トレなどで時間をかなり使い自由な時間が少なくなります。そこで、今までの伝統はそのままでも、安対の用紙を変えたり、トレの時間を変えたりなど変更していています。よりよいワングルとなっていくように頑張りたいと思います。

これから、第46期執行部をやっていく上で事故などなく無事に1年間を過ごし、よりよいワングルになるようにみんなで力を合わせて頑張ります。

3.2 春合宿結果報告 奄美大島

PL 田中歩希

この度、春合宿のPLを務めさせて頂きました。理学部自然情報科学科3回生田中 歩希です。2006年度春合宿では、3月15～23日にかけて奄美大島トレッキングを行いました。海や景色はとても綺麗で、現地の人々も優しく、とても楽しかったです。P-menのみんなにも楽しんでくれたと思います。自分自身もとても満足したものでした。

A P 1 OBの方や他大学などたくさんの方々に差し入れに来て頂きました。朝早くからありがとうございました。差し入れの方々に見送られて、湯田温泉駅を出発して鈍行で鹿児島駅まで一日かけていきました。みんな楽しく話しながら行っていきました。

A P 2 この日はフェリーで奄美まで行くのですが、フェリーが夕方から出発するのでそれまで鹿児島観光をしたり、のんびりしました。フェリーは狭かったですがヒトが少なかったので広々と使えました。船酔いするP-menが一人居ましたがなかなか快適に過ごせたと思います。いよいよ明日から春合宿が始まるのですごいときどきでした。

1日目

古仁屋港	11:10 着
路草	13:20 着
高知山展望台	14:50 着
計4本	1:40

奄美の土を踏みました。長い間フェリーに揺られて少し体調が悪いP-menもいましたが、休憩して元気になりました。快晴で、ロードなのでさすがに暑く、みんな汗だくで歩いていました。車の通りが少なかったのが楽でした。途中、現地の人にいろいろ親切にしてもらいました。その後、みんなで展望台上り景色がとても綺麗でした。

展望台からの夕日は圧巻でした。また、南の島ですと植生も違い珍しい植物も見られて驚きでした。

2日目

起床	6:00
ヤドリ浜キャンプ場	8:32 着

この日はテン場の水場に水がなかったので、テン場からあえなくタクシーで次のテン場であるヤドリ浜までタクシーで行きました。あいにくの曇りで海の景色があまりよくなかったのが残念でした。しかし、浜やテン場も綺麗で心地良かったです。この日は近くのホノホシ海岸にも行ってきましたが、ここでもあいにくの曇りでしたが、岩に登ったり、各自楽しそうに過ごしていました。また、ここで釣りをしたのですが、魚が釣れて夕エッセンで食べておいしかったです。

3日目

4:50 発	ヤドリ浜キャンプ場	
	蘇刈	5:31 着
	阿木名	8:05 着
	嘉徳海水浴場	12:08 着
計8本	4:13	

この日やっとトレッキングらしくロード歩くことができました。海沿いに海を見ながら歩きましたが、エメラルドグリーンに澄み、太陽の光があたるときらきらと、まるで生きているかのように輝いていました。この日は1日目ほど暑くはなく、風が気持ちよかったです。嘉徳海岸海水浴場の海はこの春合宿で一番よかったと思います。浜で遊んだり、膝まで海につかったりしてすごしました。

4日目

7:00 発	嘉徳海岸海水浴場	
	市海水浴場到着	12:13 着
計6本	3:49	

4日目は、ずっと山の中を進む道でした。ひたすら登り。そのうえ晴れだったので、P-menもし

んどいかなと思ったのですが、会話もそんなに絶えずわいわい歩いていくことができました。結構きつかったので、市海水浴場に着いたときは相当うれしかったです。市の海も綺麗でしたし、途中マングローブがあり、なかなか良い所でしたが、みんな途中から寝ていたのが残念でした。

5 日目

8:00 発	テン場	
	戸玉	8:36 着
	奄美アイランド	9:29 着
	マングローブパーク	10:30 着
13:00 から	カヌー	
	計 3 本	2:00

この日は、なんとカヌーをやりました。途中雨が降ってきたのですが小雨だったのでカヌーすることができました。自分も含めみんな初カヌーで最初はあたふたしてましたが、すぐにコツを掴みつかみスイスイと進むことができていました。それでも、まっすぐ進めなかったり、転倒したりする P-men もいましたが、とても楽しかったです。ずっとロードだったのでいい気分転換になったと思います。

6 日目 この日は沈で、みんなでトランプやらっぱで遊んですごしました。

7 日目

4:50 発	テン場	
	見里	6:17 発
	城	7:10 着
	朝戸	9:47 着
	高千穂湯	11:45 着
	計 8 本	4:21

いよいよ最終日です。この日の行程が一番長かったです。やはり最終日でみんな疲れが見えていましたが、途中ゲームなどしながらわいわい行きました。城でストームをし、城を過ぎるとまた山の中を歩いていきました。朝戸では人口がたっさんいまして、みんなこちを物珍しそうにみるので恥ずかしかったです。久しぶりの風呂はかな

り気持ちよかったです。

6 泊 7 日 総計 29 本
総コースタイム 16 : 03

基本的にロードで、最初は海や珍しい植物、見慣れないものが新しかったのですが、やはり途中から慣れてきたから、カヌーという新しいことをしたのは良かったと思います。奄美は基本的に交通量が少なかったため、交通事故の危険もさほどなく、天候もそこまで崩れることは無かったのでとても良い春合宿になったと思います。P - men に色々迷惑をかけましたが P - men に喜んでもらったので良かったです。春合宿を立てるにあたって多くの先輩に迷惑をかけて申し訳ありません。また手助けしてもらった先輩方差し入れに来ていただいた先輩方ありがとうございます。奄美はとてもよいところだったのでまた誰かにトレッキングやサバイバルなど立てて欲しいです。

3.3 2006 年度 第 42 回県内合同ワンデリング結果報告

実行委員長 小柳武

この度、県合の実行委員長を務めさせていただきました、人文学部人文社会学科 3 回生の小柳武と申します。

5/5 ~ 5/7 にかけて、日暮ヶ岳(集中地:くぬぎの森キャンプ場)にて県合を開催しました。今年度の県合の特徴は、キャンプファイヤーが悪天によって中止になった場合、代わりにキャンドルの集いを行うことでした。悪天になった場合飲みとレクリエーションだけではつまらないということで、このような企画を設けることにしました。

今年度の県合は、山口大学、山口県立大学が主管校となって企画しました。県合のテーマは深山幽谷に親しみ、遊ぶということで『親山遊谷』にしました。1 年生や県合初参加者にとって、ワンゲルが普段活動する場所となる深山幽谷に、親しむきっかけになるように、あるいは新たな楽しみを見出せるように、という願いからこのような

テーマにしました

県合のスケジュールは、1日目はPartyごとに飲み、2日目に日暮ヶ岳登山、そのあとでレクリエーション、そしてキャンプファイヤーを行い、3日目にプレゼント交換、解散という予定でした。県合当日は、2日目悪天、強風のため日暮ヶ岳登山が中止になり、テン場を撤収して管理棟へ移らざるを得なくなりました。若干スケジュール通りに進まないこともありましたが、1人のけが人もださず、無事に終了させることができました。参加者の皆さんが、1日目、2日目の飲みやレクリエーションなどで盛り上がっていた様子を見ることができ、責任者として幸いに思います。また、雨天のため当日はキャンドルの集いを行いました。

今年度の県合で、準備の面で遅かったことで、関係者にご迷惑をかけました、来年度の責任者にはしっかり早め早めに計画して行ってほしいです。県合を計画するに当たって協力してくださった関係者にはこの場を借りて厚く御礼もうしあげます。

3.4 夏合宿紹介 - 仙丈、甲斐駒、白峰三山 -

PL 清水和也

この度、夏合宿におきましてPL・責任者を務めることとなった清水です。今年の夏合宿では、去年台風によって登ることが出来なかった南アルプスへ再挑戦です。今回のメンバーは一年6人、二年1人、三年3人の計10人なのですが、現在リーダー資格を持っているのが二人です。その為、伝令の関係もあり、同じコースを2Partyで行きます。PLは自分と主将の田中です。

コースは3年前の夏合宿とほとんど同じコースで、仙丈ヶ岳、甲斐駒ヶ岳、さらには白峰三山まで堪能できる、南アルプスのいいとこ取りのコースとなっています。北岳、仙丈のお花畑や、甲斐駒の360°のパノラマが広がる景色はきっと感動することでしょう。

責任者、PLとして全員無事に下山させ、なおかつ全コース踏破できればと思っています。特に一年生に南アルプスの絶景を見てもらい感動してもらえば幸いです。

3.5 アフター紹介 燕岳

PL 坂本和隆

今回のアフターのPLをさせていただくことになりました、坂本です。今年のアフターは北アルプスの燕岳に行く予定です。燕岳は見られる山というより見る山であり、一説には標高700メートル以上の山が94座も見えるという山です。長野県外で南の山は富士山、北は妙高山まで展望でき、大パノラマが楽しめる素晴らしい山なので、ここに決めました。

行程はアプローチ、山行あわせて一泊二日の予定です。例年より短いですが、燕岳の登山コースは「アルプス三大急登」のひとつとして数えられるほど急な坂が続くコースなので、十分内容の充実した山行になると思います。

1日目 まず中房温泉からの登山口から登り、合戦小屋まで針葉樹林の中を急登します。途中、第一ベンチ、第二ベンチ、第三ベンチ、富士見ベンチと30分おきに休憩ベンチがあるのでしっかり休憩を取りつつ登って行けます。合戦小屋からは傾斜が緩やかになってきて、展望も開けるので景色を楽しめつつ登れます。そこからおよそ一時間で燕山荘に着き、ここで一泊します。

2日目 二日目は朝早くに出発して燕岳に向かい、そこらご来光を見ます。そしてその後は、来た道を引き返して下山します。これでアフターは終了です。全体的にほとんど一本道で迷うことはないですが、傾斜がかなり急なようなのでしっかりとペース配分を考えて行きたいと思います。今回のアフターの一番の見所は燕岳から見える大パノラマですが、合戦小屋に売られているスイカを食べたり、また中房温泉は下山時のみ登山者も入浴可能なので、アフター終了後は温泉につかって疲れを取るなど、楽しめる要素がいろいろあ

るので、アフターをしっかり成功させると同時にしっかり楽しんでいきたいと思います。

3.6 一年生合宿紹介 美ヶ原

PL 珍部

今年の一年生合宿の PL を務めさせていただくことになった珍部です。今年の一年生合宿は、例年通り美ヶ原に行く予定で山中 1 泊 2 日、予備日 2 日の予定です。

1 日目 1 日目は広小場から三城荘に向かいそこから電波等が立っていると有名な王ヶ頭を目指します。王ヶ頭に到着したらそこから王ヶ鼻を目指します。王ヶ鼻は断崖で足場が不安定ですが、松本市や北アルプスが望める絶景です。王ヶ鼻からは再び王ヶ頭を通過して塩くれ場へ向かいそこから広小場へと帰ります。道中は、放牧された牛がいたりジグザグの道だったりします。広小場に到着したら 1 日目は終了です。

2 日目 2 日目は 1 日目で通ったジグザグの道を通して塩くれ場へと向かい美しノ塔を目指します。美しノ塔は石の塔で上に鐘が吊るされ下部には有名な尾崎喜八の詩のパネルがはめ込まれた美ヶ原のシンボルです。美しノ塔からは牛伏山へ向かいます。牛伏山では西に広がる高原の向こうに北アルプスの連なる姿が望めます。牛伏山に着いてからは来た道を戻り茶臼山を目指します。茶臼山でもアルプスを望むことができます。茶臼山からは広小場を目指し広小場に着けば 1 泊 2 日の山行は終了です。

上級生がいないということもあり不安な山行ですが 1 年生全員で協力し合い美ヶ原を十分に満喫したいと思っています。

第4章

現役活動報告 -工学部-

4.1 執行部近況報告

第44期主将 大宮拓也

主将・会計・渉外・トレーナー	大宮拓也
衛生・気象	坂本和隆
エッセン・サブトレーナー	須戸康弘
装備・記録図書	平村健勝

今期で第44期となった執行部ですが、今年は2年生が多く来たおかげで4月当初は3回生1人、2回生4人の計5人でずいぶん賑やかになりました。

しかし、時間や金銭的な事情により一人辞めることになり、現在は4人で活動しています。

そんな44期執行部ですが他にもいろいろな動きがありました。1つ目に週3日のうち2日の通常のトレーニング。授業の関係で、どうしても遅く始めざる終えなくなり、なんとかしてトレの時間を短縮できないかと考え、従来の基本のトレ35×2を70×1にし、これによりトレの負担を上げつつ時間を短縮することに成功しました(早いときは1時間以内に終わります)。2つ目にトレ後の諸連絡など、工学部には無くて本学にはあるものをいくつか工学部でも復活させて、活動をより潤滑に行えるようにしました。3つ目にコンピューター技師T・H君の活躍によりBOXでもインターネットが行えるようになり、部員同士の交流の場を深めることができました。

このように小さな変革をたくさん行っている44期ですが、これからもより精進してがんばっ

ていこうと思います。

4.2 春合宿結果報告

PL 大宮拓也

工学部の春合宿を計画した大宮拓也です。今回の春合宿は竹島のオンボ崎キャンプ場を拠点にサバイバル合宿を行いました。食料は現地調達で4日目の朝エッセンだけは米を食べる、という「米のおいしさを味わおう」という暗黙のテーマのもと、3泊4日で合宿を行いました。持参食料は調味料としてミソ、塩、醤油、砂糖で、このほかにも釣りえさとしてオキアミを2パックもって行きました。

AP1日目(3/6) 常盤駅から先輩方に見送られ、総勢9袋もの差し入れをザックに吊り下げ、青春18切符を使って鹿児島までの旅をはじめました。開始から宇部駅、合宿が始まって早15分、我ら工学部パーティーは「宇部で乗りかえるつもりが乗り換えなくてよかった」というアクシデントにつかまることとなります。ハイパーダイヤは敵、という事を心に刻みつつ、1本遅い便でも小倉で復帰できるということを知り、以降は問題なく鹿児島へと着くことができました。桜島フェリーターミナルは以前ほど浮浪者が見当たらず、平和に、かつ見張り役もいらずに全員安眠できました。

1日目

- 12:25 竹島上陸
- 12:45 長瀬港発
- 14:10 オンボ崎キャンプ場着

桜島フェリーミナルから竹島行きフェリーの出る南埠頭へ行き、フェリーに乗って、いざ竹島へ。出航から約3時間、周りを崖に囲まれた「城塞島」という言葉が似合うような風体の竹島が眼前に広がります。竹島到着後1時間20分ほど歩いてオンボ崎キャンプ場に着きます。設営した後、さっそく食料調達とキャンプ場周辺の見回りを行い、この間に野草のツワブキやカメノテ、ヨメノカサといった貝を調達しました。魚を釣る時間は無かったので、この日の料理は「竹島風 ゆでカメ(ノテ)」「暗黒風 焼けたヨメ(ノカサ)」「闇鍋風 ツワブキのミソジル(汁)」の3品を食し、余ったカメノテとツワブキを明日の朝エッセンへと残し、テントへ駆け込みました。テントの中では日記をつけたり、イシダイ用の仕掛けを作ったりと就寝時間まで各々の時間を楽しみつつ、明日へ備えました。

2日目 この日は快晴。絶好の釣り日和の中、1日目に探索した磯へ胸を弾ませ、いざ出発。貝や野草は前日の探索から1時間もあれば1日分はすぐ取れる、と分かっていたので、この日は釣りに勤しみました。釣果は30～35cmのイスズミが4匹釣れ、豪華な食卓になりました。釣りの最中には天然のウミガメが見れるなど、南方の島独特の風物詩も発見でき、良い思い出になりました。貝や野草は、釣りに飽きたP-menがせっせと取って、とても食べきれない量でなくなりました。この日の料理は「南海風 イスズミの塩焼き」「磯磯風 イスズミの味噌漬けボイル焼き」「糖尿風 山と海の恵みの激甘砂糖醤油漬け」と、「焼いた貝」というよりは「焼けた貝」という表現がぴったりな貝を食べ、シュラフへともぐりました。

3日目 あいにくの雨で沈が決定。トランプをする気力もなく、ひたすら雨漏りに耐えながら2度寝、3度寝、4度寝。エッセンは昨日に取り

すぎた貝を利用し「倦怠期風 湯貝のオンパレード」に便所に行く道中で採取したツワブキをトッピングし食べました。しかし、そんなものが文明人に目覚めた我らの腹を満足させるわけもなく、しかし、食べるものもなく、仕方なく3人そろってスプーンで砂糖をすくって舐めていました。特に何も無い1日でした。

4日目

- 9:03 オンボ崎キャンプ場発
- 10:32 長瀬港着

合宿最終日にして、ついに朝エッセンで米を食べれることに。しかし、その米もむなしくコゲてしまい、米がおいしいとは思いましたが、おいしいお米は食べられませんでした。フェリーのために早めに出発しようということで9時に短い間お世話になったオンボ崎キャンプ場に別れを告げ、キャンプ場維持費募金に100円を投下し、1日目に歩いた道を引き返してフェリー乗り場へ行き、船に乗って南埠頭へ到着し、タクシーで温泉へ向かいました。

今回の合宿ではサバイバル合宿ということもあり、通常の合宿に比べると事前準備も合宿そのものも、幾分楽でしたが初の大仕事ということもあり、たくさんの先輩方に迷惑をかけてしまいました。しかし、この合宿を通して一回り成長できたと思います。先輩方も最後の合宿を楽しんでくれたようで実りあるものになったと思います。

4.3 工学部夏合宿について

主将 大宮拓也

今回工学部部員の夏合宿参加者は本来4名ですが、学科の授業の関係と交通事故による負傷で参加できるのが2名のみとなりました。そこで先輩や本学の方と一緒に相談し、工学部は本学と合同で夏合宿を行うことにしました。詳しい内容は本学の夏合宿紹介をご覧ください。

4.4 80km 耐久徒歩

実行委員長 須戸康弘

第 39 回 80km 耐久徒歩の実行委員長を務めさせて頂きます工学部電気電子工学科 2 年の須戸康弘と申します。

昨年は、急な役員の欠如があり、後半のマイペースが中止という形で終わりましたが、今年は例年通り開催しようと思っています。自分は、責任者という立場になるのはこれが初めてなので参加する皆さんには迷惑をかけるかもしれませんが、先輩方の助言のもと昨年の悪かった所を改善していき、不備がないように心掛けていきたいと思えます。

予定日としては、11 月 11、12 日に開催する予定です。たくさんの参加をお待ちしております。

第 5 章

その他

5.1 Y.U.W.V. ホームページ

山口大学ワンダーフォーゲル部のホームページをご紹介します。OB 通信も掲載しているので是非ご覧下さい。

Y.U.W.V. ホームページ URL

<http://www.cc.yamaguchi-u.ac.jp/tabidori/>

5.2 編集後記

編集 上岡敬巧

事務局の仕事を引き継ぎ、初めての通信の編集でした、前任の人が作っていた去年の通信の雛形にコピー、ペーストをしていただけなので、目新しさは無いですが見やすい様式を作れるので今回も \LaTeX を継続して使ってみました。ところどころの微調整のために、このソフトのことについても調べながらやってみました、もう少し勉強して第 2 号を出すときには独自の改善ができるようになろうと思います。

さて今年の夏合宿は本学、工学部の合同での合宿で 1 パーティーのみです、今まで無かった少なさで山大ワンゲルのこの後を心配する方も居られると思います。自分も合宿で 3 パーティー以上の時代を知りません。多パーティーでの合宿ができるように山大ワンゲルも盛んになってもらいたいと思います。